

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	斐伊川神戸川対策課長 横川 裕	電話番号	0852-22-5937
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	大橋川改修事業促進事業		
目的	(1) 対象	大橋川改修事業により、移転等が必要な住民の方々、商売など影響を受ける方々	
	(2) 意図	斐伊川神戸川治水事業推進のため、市民の理解が得られるようにするとともに、大橋川改修が、まちづくりや環境と調和した計画となるように、地元住民の意見を十分聴き、事業への理解と協力が得られるように努める。	
事業概要	大橋川改修事業の促進のため、移転等が必要な住民の方々、商売など影響を受ける方々に対して、事業への理解と協力が得られるよう国、松江市と調整を図り、情報発信、説明会、個別相談等を実施する		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 勉強会や説明会等の参加者数、コミセン来館者数	目標値		2,188.0	2,188.0	2,188.0	2,188.0	人
		取組目標値						
	式・定義 ・説明会等年間参加者総数（国県市及び関係委員会主催） ・目標値：23年度実績数	実績値	1,956.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	9,178	145,423
うち一般財源 (千円)	9,178	145,423

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成25年度は、平成25年6月に放水路が完成し、9月の大雨で放水路に初めて洪水が流された。また、平成26年度は、平成27年1月に天神川水門が完成し、向島地区や竹矢矢田地区の築堤護岸工事などに着手したことにより、市民の関心が高まったことからコミセン来館者数が増加したが、平成27年度は施設整備や災害などの新たな動きがなかったため、来館者数は減少したものと思える。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・下流狭窄部北岸については、用地交渉を進め、平成27年度に移転対象16戸のうち5戸の移転が完了した
- ・上流狭窄部南岸については、地元住民への事業説明会を開催し、用地調査に着手した

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・大橋川沿線各地において、未着工の箇所が多数ある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・大橋川改修事業のため、立ち退きや改修事業のため漁業に影響があるなど、深刻な課題を持たれる個人、業界の方々がいらっしゃるため。

③原因を解消するための「課題」

- ・大橋川改修事業について、国、県、市と連携し、治水事業の必要性、河川環境や景観に十分配慮した改修事業を進めていくことを、丁寧にわかりやすく説明をし、関係住民の方々に理解していただくことが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・大橋川通信の発行や大橋川コミュニティセンターの来場者の方々へ丁寧な説明を行うことで、大橋川改修事業の必要性、重要性について、理解を深めていただくよう取り組む。
- ・大橋川沿線の地元住民、関係者等の方々の意見を十分に聞きながら、課題の解消や事業の理解を深めていただくよう、国、県、市で緊密に連絡調整を図り進めていくことが必要。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）